

## 情報通信審議会 電気通信事業政策部会（第37回）議事概要

1 日時 平成29年1月24日(火) 14時00分～14時30分

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

(1) 委員（敬称略）

山内 弘隆（部会長）、石戸 奈々子、泉本 小夜子、谷川 史郎、  
森川 博之（以上5名）

(2) 総務省

（総合通信基盤局）

富永 昌彦（総合通信基盤局長）、巻口 英司（電気通信事業部長）、  
秋本 芳徳（総務課長）、竹村 晃一（事業政策課長）、  
安東 高德（事業政策課調査官）、堀内 隆広（事業政策課企画官）、  
藤野 克（料金サービス課長）、内藤 新一（料金サービス課企画官）、  
三田 一博（データ通信課長）、荻原 直彦（電気通信技術システム課長）、  
廣重 憲嗣（番号企画室長）、徳光 歩（消費者行政第一課長）、  
湯本 博信（消費者行政第二課長）

(4) 事務局

永利 正統（情報通信国際戦略局情報通信政策課管理室長）

4 議 題

報告事項

「固定電話網の円滑な移行の在り方」について

【平成28年2月25日付け諮問第1224号】

【内容】

本件は、「電話網移行円滑化委員会」より調査・検討した内容について報告があったもの。

「固定電話網の円滑な移行の在り方」のうち「移行後のIP網のあるべき姿」について、昨年2月の諮問以降、電話網移行円滑化委員会において議論を行い、同委員会で報告書がとりまとめられた。

報告の内容としては、IP網への円滑な移行を進める観点から、「継続性」「予見性・透明性」「発展性・柔軟性」「経済性・簡便性」の4つの基本的視座に基づく個別課題の検討を踏まえ、光IP電話を含むOAB～J IP電話や光ブロードバンドに関する競争環境整備を促進し、移行元

であるメタル電話の利用者にこれらのサービスへの移行を促すとともに、過度な負担発生を回避しながら、メタルIP電話の提供などの移行に直ちに対応できない利用者に対する適切な補完的措置を講ずべきという方向性を示すものであった。

本日の審議の結果、当該報告書を答申案とすることを了承し、今後は速やかに意見招請を行うこととした。

本会議にて配付された資料をご覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますのでご覧ください。

また、総務省において、閲覧及び貸し出しを実施しておりますので、下記までご連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信国際戦略局 管理室 調整係 高橋、中山

電 話：03-5253-5957

F A X：03-5253-5945

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。